

# 沖縄県電子納品チェックソフト エラーメッセージ集

Version 12

2025年7月

## 情報・ファイル構成

### エラーログ一覧

| エラーメッセージ                                  | 出力例   | 原因   | 対処方法  |
|---|---|--|---|
| [情報] 要領(案)[◎◎]は検査されていません。                 | [情報] 要領(案)[デジタル写真管理情報基準(案)]は検査されていません。                  | 成果品に納品フォルダ(管理ファイル)がない場合に、表示されます。<br>この場合、要領(案)の自動判別では、「XML存在しません」と表示されます。                              | 納品ファイル自体が存在しない成果品ではエラーではありません。<br>その場合、修正の必要はありません。   |
| [情報] フォルダ[◎◎]は検査されていません。                  | [情報] フォルダ[PHOTO]は検査されていません。                             | 検査時のオプション(STEP3)で、フォルダに対する検査を外した場合に、表示されます。  | 検査時のオプション(STEP3)で、フォルダに対する検査のチェックを外さずにチェックすることで発生しません。  |
| ○枚目のCDにある成果品はルートに格納されていません。               | 1枚目のCDにある成果品はルートに格納されていません。                             | CDのルートに、何らかのフォルダが作成されていて、その中にINDEX_C.XML及び納品フォルダが格納されています。   | CDルート直下に成果品を格納して下さい。  |
| ★DTDファイル(◎◎)が存在しません。                      | ★DTDファイル(INDE_D03.DTD)が存在しません。                          | 成果品に指定のDTDファイルが格納されていません。  | DTDを格納して下さい。  |
| ★納品フォルダ(◎◎)が存在しません。                       | ★納品フォルダ(BORING)が存在しません。                                 | INDEX_C.XML(INDEX_D.XML)にフォルダ名が記述されているが、成果品に納品フォルダが存在しません。   | フォルダの有無、XMLの記述を確認して下さい。<br>フォルダの存在必要ない場合は、XML中から該当フォルダの記述を削除してください。                                       |
| ○○が存在しません。                                | BORING#BORING.XMLが存在しません。                               | インデックスファイルにフォルダの記述があり、実際にフォルダも存在しているが、フォルダ内に管理XMLファイルが存在しないときに表示されます。                                  | インデックスファイルから情報を削除し、実際のフォルダも削除してください。  |
| ★ファイル名○○が存在しません。                          | ★ファイル名(CHECK.PDF)が存在しません。                               | 必須ファイルが存在しないときに表示されます。   | 問題ないか確認して下さい。   |
| ★ファイル名(◎◎)が規約外です。ファイル名は(◎◎)です。            | ★ファイル名(C0PL001Z.p21)が規約外です。ファイル名は(半角英数大文字 1桁以上12桁以内)です。 | 成果品のルート或はフォルダに、ファイル名が要領(案)に準拠していないファイル(文字数オーバー、使用文字)が格納されています。   | 要領(案)のファイル名命名規則に従って、ファイル名の修正して下さい。特に英字は小文字の使用はできません。  |
| ★フォルダ名(◎◎)が規約外です。フォルダ名は(◎◎)です。            | ★フォルダ名(aaaaaaaaa)が規約(半角英数大文字 1桁以上8桁以内)外です。              | 成果品のルート或はフォルダに、フォルダ名が要領(案)に準拠していないフォルダ(文字数オーバー、使用文字)が格納されています。   | 要領(案)のフォルダ名命名規則に従って、フォルダ名の修正して下さい。  |
| ☆XMLに記載のないフォルダ(◎◎)が存在します。                 | ☆XMLに記載のないフォルダ(REPORT)が存在します。                           | 各種管理XMLファイルに納品フォルダの記述はないが、実際にフォルダが格納されている場合に表示されます。  | フォルダは必要かどうか、或はXMLファイルに記述漏れかどうかを確認して下さい。<br>基本的に要領案で決定されているフォルダ以外が存在する場合表示されます。既定以外のフォルダは作成しないでください。       |
| ★◎◎枚目のメディアの△△の内容が、◎◎枚目のメディアの△△と一致していません。  | ★1枚目のメディアのPHOTO.XMLの内容が、2枚目のメディアのPHOTO.XMLと一致していません。    | 複数枚の成果品CDで、納品データが複数のCDに跨る場合、同じXMLを格納する必要があり、異なったCDに格納されたXMLの内容が違います。                                   | 複数のCDに同じXMLを格納するように、修正して下さい。  |
| エラー件数が指定制限値を超えたため、チェック処理を中断しました。          | (同エラーメッセージ)   | 総エラー数が環境設定で指定されている制限数に達した時に表示されます。<br>環境設定にて「制限しない」を選択している場合もエラー件数が20000に達した時点で本メッセージが表示され、チェックは停止します。 | エラーを修正し、本メッセージが表示されないようにして下さい。  |
| ☆XMLファイル(◎◎)が存在しませんが、納品フォルダ配下にフォルダが存在します。 | ☆XMLファイル(DRAWING.XML)が存在しませんが、納品フォルダ配下にフォルダが存在します。      | 注意メッセージです。<br>納品フォルダにXMLがありませんが、(左記例ではDRAWING)フォルダにフォルダが格納されています。                                      | 本来、対象のフォルダに何らかのフォルダが存在する場合、管理ファイルであるXMLの存在は必須となります。<br>管理ファイルを作成し、納品フォルダの内容を記述するか、納品フォルダの格納フォルダを見直してください。 |
| ☆XMLファイル(◎◎)が存在しませんが、納品フォルダ配下にファイルが存在します。 | ☆XMLファイル(DRAWING.XML)が存在しませんが、納品フォルダ配下にファイルが存在します。      | 注意メッセージです。<br>納品フォルダにXMLがありませんが、(左記例ではDRAWING)フォルダにファイルが格納されています。                                      | 本来、対象のフォルダに何らかのファイルが存在する場合、管理ファイルであるXMLの存在は必須となります。<br>管理ファイルを作成し、納品ファイルの内容を記述するか、納品ファイルの格納フォルダを見直してください。 |

## XML構成

| エラーメッセージ                                      | 出力例  | 原因  | 対処方法   |
|---|--|---|--|
| <b>■ 共通メッセージ</b>                              |  |   |  |
| XMLファイルが存在しません。                               | (同エラーメッセージ)  | 通常XMLがない場合、要領(案)の自動選択では、「XMLファイルがありません」と表示されます。要領(案)選択で強制的に要領(案)を選択すると、チェック結果に表示されます。   | —  |
| 値が指定されていません。<br>★△△ は必須入力です。                  | 値が指定されていません。<br>★縮尺 は必須入力です。   | 必須入力項目に、内容が記述されていません。   | 必須項目に、必ず要領(案)の規定に従って内容を記述して下さい。  |
| 使用文字に誤りがあります。赤字の文字は使用できません。<br>★使用できる文字は△△です。 | <予備>○○○○(△△△)グループ</予備><br>使用文字に誤りがあります。赤字の文字は使用できません。<br>★使用できる文字は 全角文字半角英数字 127桁以内です。 | 文字桁数、禁則文字等が使用されています。<br>禁則文字は、赤字で表示されます。  | 要領(案)の規定に従って、使用できる文字で記述して下さい。<br>出力例では、全角英数字、半角カタカナ等の禁則文字が使用されている、或は文字桁数に問題があることを示します。 |
| データ表記形式に誤りがあります。<br>★表記形式は ◎◎ です。             | データ表記形式に誤りがあります。<br>★表記形式は 「ライフサイクル1桁」[整理番号1桁][図面種類2桁][図面番号3桁][改訂履歴1桁].P21' です。        | XMLファイルに記載されているファイル名、形式が要領(案)の規定形式と一致しません。  | 要領(案)の規定に従って、表記形式で記述して下さい、出力例では、図面ファイル名の命名規則、或は記述できる内容に合致していないことを示します。                 |
| 値に誤りがあります。<br>★指定できる値は ◎◎ です。                 | 値に誤りがあります。<br>★指定できる値は BORING.XMLに記入されている経度_度と一致 です。                                   | XMLファイルに記載されている値が県の規定或は要領(案)の規定と一致しません。   | 要領(案)の規定に従って、値を記述して下さい。<br>例は、チェックされたXMLに記述されたある項目の値がBORING.XMLにある同じ項目の値と合致していません。     |
| 日付形式に誤りがあります。<br>★日付形式は ◎◎ です。                | 日付形式に誤りがあります。<br>★日付形式は 'yyyy-mm-dd' です。   | 日付の記述が「2006-02-15」の形式になっていません。  | 要領(案)の規定に従って、日付形式を記入して下さい。   |
| ★△△(◇◇)より前の日付です。                              | ★履行期間-着手(2004-04-01)より前の日付です。  | 後の日付が前の日付よりも若い内容が記述されています。  | 日付の前後を確認し、記述を修正して下さい。  |
| ★インデックスファイルに記述されている期間外の日付が記入されています。           | (同エラーメッセージ)  | INDEX*.XMLに記載されている日付の期間外の日付が記入されています。<br><br>(例:INDEX_C.XMLの工期開始日・終了日が「2009-05-01」～「2009-7-31」の場合、PHOTO.XMLの撮影年月日が「2009-08-10」だと、工期範囲外のためエラーとなります。) | 日付を確認し、記述を修正して下さい。   |
| ★同じ値 ◎◎ が記述されています。                            | <シリアル番号>1</シリアル番号><br>★同じ値 1 が記述されています。  | シリアル番号など、要領(案)ではユニークな番号を記述すると規定されている項目に、同じ値が入力されています。   | 要領(案)の規定に従って、重複しない、ユニークなシリアル番号で記述して下さい。  |
| 値に誤りがあります。★指定できる値は ◎◎ ～ △△ の範囲です。             | 値に誤りがあります。★指定できる値は 12000 ～12500 の範囲です。   | 入力された値の範囲に誤りがあります。  | 要領(案)の規定に従って、正しい範囲を記述して下さい。  |



## XML構成

| エラーメッセージ  | 出力例  | 原因  | 対処方法                                     |
|---|--|---|--|
| ファイル名に誤りがあります。★バイト数はベース名 ◎◎桁固定、拡張子 △△ 桁以上 ◇◇ 桁以内です。               | ファイル名に誤りがあります。★バイト数はベース名 8 桁固定、拡張子 1 桁以上 3 桁以内です。  | 記述したファイル名の桁数が左記の規定を満たしていません。  | 要領(案)の規定に従って、正しいファイル名を半角文字記述して下さい。       |
| ファイル名に誤りがあります。★バイト数はベース名 ◎◎桁以上 △△ 桁以内、拡張子 ◇◇ 桁固定です。               | ファイル名に誤りがあります。★バイト数はベース名 1 桁以上 8 桁以内、拡張子 3 桁固定です。  | 記述したファイル名の桁数が左記の規定を満たしていません。  | 要領(案)の規定に従って、正しいファイル名を半角文字記述して下さい。       |
| ファイル名に誤りがあります。★バイト数はベース名 ◎◎桁以上 △△ 桁以内、拡張子 ◇◇ 桁以上 ○○ 桁以内です。        | ファイル名に誤りがあります。★バイト数はベース名 1 桁以上 8 桁以内、拡張子 1 桁以上 3 桁以内です。  | 記述したファイル名の桁数が左記の規定を満たしていません。  | 要領(案)の規定に従って、正しいファイル名を半角文字記述して下さい。       |
| ★記入された値はTECRISコード表に含まれていません。                                      | (同エラーメッセージ)  | 発注者コード等の項目に入力された値がTECRISコード表と一致しません。  | TECRISコード表にある値を記入して下さい。                  |
| ★記入された値はCORINSコード表に含まれていません。                                      | (同エラーメッセージ)  | 発注者コード等の項目に入力された値がCORINSコード表と一致しません。  | CORINSコード表にある値を記入して下さい。                  |
| ★土木建築部の◎◎は、半角数字12桁固定です。   | ★土木建築部の設計書コードは、半角数字12桁固定です。  | 沖縄県では、工事番号、設計書コードが12桁と規定されています。   | 正しい桁数で記入して下さい。                           |
| ★指定されている納品ファイル( △△ )がフォルダ( ◎◎ )に存在しません。(XML或いはファイル、フォルダ名を確認して下さい) | ★指定されている納品ファイル( REP01_01.DOC )がフォルダ( REPORT¥ORG )に存在しません。(XML或いはファイル、フォルダ名を確認して下さい)  | 管理ファイル(例:REPORT.XML)に記述した納品ファイルが納品フォルダに存在していません。  | XMLに記載したファイル名が実際の納品フォルダに存在しているかを確認して下さい  |
| ★DTDファイル( ◎◎ )の内容が電子納品要領案( △△ )と一致しません。                           | ★DTDファイル( MEET03.DTD )の内容が電子納品要領案( MEET03.DTD )と一致しません。  | 成果品に格納されているDTDファイルの内容とCS-GVが保有している内容と違います。  | DTDが古いか、内容が変更された可能性があります。最新のDTDを使用して下さい。 |
| XMLファイル( ◎◎ )のXML構成に誤りがあります。★XMLファイルを確認して下さい。                     | XMLファイル( DRAWING.XML )のXML構成に誤りがあります。★XMLファイルを確認して下さい。   | XMLの記述に誤りがあり、DTDと一致していません。<br>通常は、以下のような内容も表示されます。<br><br>XMLファイルに誤りがあります。<br>ファイル名:file:///C:/Documents-10728980280and-10728980280Settings/C221/My-10728980280Documents/成果品/935070059/Data/DRAWING/DRAWING.XML<br>エラーコード:-1072898028<br>行:24<br>桁:12<br>データ:<追加対象工種-数値>001</追加対象工種-数値> | XMLファイルがDTDの規定通りに作成されているかを確認して下さい。       |
| ★外部XMLファイル( ◎◎ )が存在しない為、データを参照する事が出来ません。                          | <シリアル番号>2</シリアル番号><br>★外部XMLファイル( C:¥Documents and Settings¥C221¥My Documents¥チェック結果 ¥200411110228¥Data¥MEET¥.¥PHOTO¥PHOTO.XML )が存在しない為、データを参照する事が出来ません。 | 打合せ簿に指定している関連資料(PHOTO.XML)が成果品データに存在してない場合、表示されず。   | 関連資料の指定が正しいかを確認して下さい。                    |

## XML構成

| エラーメッセージ  | 出力例   | 原因  | 対処方法                               |
|---|---|---|------------------------------------|
| ☆ファイルの最大サイズを超えています。最大サイズは(◎◎)MB以下です。            | [REPORT01.PDF]<br>[報告書ファイル名]<br><報告書ファイル名>REPORT01.PDF</報告書ファイル名><br>☆ファイルの最大サイズを超えています。<br>最大サイズは( 10 )MB以下です。 | 納品ファイルのサイズが大きいため発生します。  | 指定されたサイズ内で作成して下さい。<br>(受発注者協議で変更可) |
| ★記入された値は沖縄県のコード表に含まれていません。                      | (同エラーメッセージ)   | 沖縄県以外の値が記入されています。   | コード表にある値を記入して下さい。                  |
| ☆記入された値は沖縄県のコード表に含まれていません。                      | (同エラーメッセージ)   | 沖縄県以外の値が記入されています。   | コード表にある値を記入して下さい。                  |
| ☆記入されている住所コード「◎◎」は沖縄地方のコード(47201-47382)に一致しません。 | ☆記入されている住所コード「63202」は沖縄地方のコード(47201-47382)に一致しません。  | 沖縄県以外の値が記入されています。   | コード表にある値を記入して下さい。                  |
| ★対象水系路線コードと対象水系路線名の内容が違います。                     | (同エラーメッセージ)   | 対象水系路線コードと対象水系路線名と整合をとっていません。                                   | 対象水系路線コードに対応した対象水系路線名を入力して下さい。     |
| ★発注年度には2004以降を記入すること。                           | (同エラーメッセージ)   | 沖縄県は発注年度を2004年以降と規定されています。                                      | 2004年以降の値を記入して下さい。                 |
| ★「沖縄県」で固定です。                                    | (同エラーメッセージ)   | 沖縄県の発注者大分類は、「沖縄県」と規定されています。                                     | 「沖縄県」と記入して下さい。                     |
| ★「◎◎」に指定できる日付は2004-01-01以降です。                   | (同エラーメッセージ)   | 沖縄県では、発注年度を2004年以降と規定されているため、打合せ簿等の資料の日付は2004-01-01以降を規定されています。 | 2004-01-01以降の日付を記入して下さい。           |
| <b>■ 緯度経度関係メッセージ</b>                            |   |   |                                    |
| ★東側境界座標経度より大きな値が記入されています。                       | (同エラーメッセージ)   | 西側境界座標経度の値が東側境界座標経度の値より大きいです。                                   | 西側境界座標経度の値と東側境界座標経度の値を確認して下さい。     |
| ★北側境界座標緯度より大きな値が記入されています。                       | (同エラーメッセージ)   | 南側境界座標緯度の値が北側境界座標緯度の値より大きいです。                                   | 南側境界座標緯度の値と北側境界座標緯度の値を確認して下さい。     |

## XML構成

| エラーメッセージ   | 出力例  | 原因                                  | 対処方法  |
|--|--|-------------------------------------|---|
| ★緯度が沖縄県の範囲を超えています。沖縄県の領域の範囲は以下のとおりです。<br>緯度: 24.000000~27.900000     | (同エラーメッセージ)  | 緯度が沖縄県の範囲を超えています。                   | 正しい沖縄県の範囲の緯度を記述して下さい。<br>エラーメッセージでは、沖縄県域の範囲を示しています。 |
| ★経度が沖縄県の範囲を超えています。沖縄県の領域の範囲は以下のとおりです。<br>経度: 122.916667~131.350000   | (同エラーメッセージ)  | 経度が沖縄県の範囲を超えています。                   | 正しい沖縄県の範囲の経度を記述して下さい。<br>エラーメッセージでは、沖縄県域の範囲を示しています。 |
| ☆測地系に旧測地系が適用されています。  | (同エラーメッセージ)  | 測地系が日本測地系の時、注意☆メッセージを表示します。         | 測地系を確認して下さい。  |
| ★南側境界座標緯度は0240000以上、0275400以下を記入。場所情報が確定できない場合は全域を指定。沖縄県最南端の0240000。 | (同エラーメッセージ)  | 沖縄県指定の値と一致していません。                   | 沖縄県指定の値を記述して下さい。                                    |
| ★北側境界座標緯度は0240000以上、0275400以下を記入。場所情報が確定できない場合は全域を指定。沖縄県最北端の0275400。 | (同エラーメッセージ)  | 沖縄県指定の値と一致していません。                   | 沖縄県指定の値を記述して下さい。                                    |
| ★東側境界座標経度は1225500以上、1312100以下を記入。場所情報が確定できない場合は全域を指定。沖縄県最東端の1312100。 | (同エラーメッセージ)  | 沖縄県指定の値と一致していません。                   | 沖縄県指定の値を記述して下さい。                                    |
| ★西側境界座標経度は1225500以上、1312100以下を記入。場所情報が確定できない場合は全域を指定。沖縄県最西端の1225500。 | (同エラーメッセージ)  | 沖縄県指定の値と一致していません。                   | 沖縄県指定の値を記述して下さい。                                    |
| ★基準点情報平面直角座標系番号は<br>「15」沖縄本島周辺<br>「16」先島諸島<br>「17」南北大東島<br>のいずれかです。  | (同エラーメッセージ)  | 沖縄県の基準点情報平面直角座標系番号に、規定外の値が入力されています。 | 沖縄県の値を記述して下さい。                                      |
| ★平面直角座標系は<br>「15」沖縄本島周辺<br>「16」先島諸島<br>「17」南北大東島<br>のいずれかです。         | (同エラーメッセージ)  | 沖縄県の基準点情報平面直角座標系番号に、規定外の値が入力されています。 | 沖縄県の値を記述して下さい。                                      |
| ★基準点情報平面直角座標系番号が「◎◎」の時、基準点情報平面直角座標「○」座標の範囲は「△△」以上「××」以下です。           | ★基準点情報平面直角座標系番号が「15」の時、基準点情報平面直角座標X座標の範囲は「4417」以上「210692」以下です。 | 沖縄県の基準点情報平面直角座標系番号に対応する座標範囲ではありません。 | 沖縄県の値を記述して下さい。                                      |

## XML構成

| エラーメッセージ  | 出力例  | 原因   | 対処方法  |
|---|--|--|---|
| ★平面直角座標系が「◎◎」の時、○側境界平面直角座標の範囲は「△△」以上「××」以下です。                       | ★平面直角座標系が「15」の時、南側境界平面直角座標の範囲は「-83276」以上「84627」以下です。 | 沖縄県の基準点情報平面直角座標系番号に対応する座標範囲ではありません。  | 沖縄県の値を記述して下さい。  |
| ★基準点情報緯度には0240000-0275400間の値で記入します。                                 | (同エラーメッセージ)  | 基準点情報緯度が沖縄県の範囲ではありません。   | 沖縄県の値を記述して下さい。  |
| ★基準点情報経度には1225500-1312100間の値で記入します。                                 | (同エラーメッセージ)  | 基準点情報経度が沖縄県の範囲ではありません。   | 沖縄県の値を記述して下さい。  |
| <b>■ 報告書関係メッセージ</b>   |  |  |   |
| ★報告書ファイル名(REPORTnn.PDF)のnnと報告書オリジナルファイル名(REPnn_mm.XXX)のnnが一致していません。 | (同エラーメッセージ)  | 報告書ファイル名とオリジナルファイル名の整合性が合わない場合エラーとします。<br>(例:REPORT01.PDFのオリジナルファイル名にREP03_01.PDFを使用している場合、報告書番号が異なるためエラーを出します。) | 正しい報告書ファイル名とオリジナルファイル名の組み合わせで記述して下さい。                         |
| <b>■ 打合せ簿関係メッセージ</b>  |  |  |   |
| ★下位(もしくは上位)打合せ簿シリアル番号に指定されているシリアル番号が存在しません                          | (同エラーメッセージ)  | 下位打合せ簿(もしくは上位打合せ簿)のシリアル番号の指定が間違っています。  | 下位打合せ簿(もしくは上位打合せ簿)のシリアル番号を確認し、正しいシリアル番号を記述して下さい。              |
| [工種]<br><工種></工種><br>★管理区分が「◎◎」の場合は必須記入です。                          | [工種]<br><工種></工種><br>★管理区分が「出来形管理」の場合は必須記入です。        | 平成22年9月要領において、<管理区分>の記載内容により、<工種>の必要度が可変します。   | <管理区分>が「出来形管理」「品質管理」の場合は<工種>について記述するようにして下さい。                 |
| [種別]<br><種別></種別><br>★管理区分が「出来形管理」の場合は必須記入です。                       | (同エラーメッセージ)  | 平成22年9月要領において、<管理区分>の記載内容により、<種別>の必要度が可変します。   | <管理区分>が「出来形管理」の場合は<種別>について記述するようにして下さい。                       |
| [細別]<br><細別></細別><br>★管理区分が「出来形管理」の場合は必須記入です。                       | (同エラーメッセージ)  | 平成22年9月要領において、<管理区分>の記載内容により、<細別>の必要度が可変します。   | <管理区分>が「出来形管理」の場合は<細別>について記述するようにして下さい。                       |
| <b>■ 台帳資料関係メッセージ</b>  |  |  |   |
| 同様の記述がINDEX_C.XMLの「台帳オリジナルファイルフォルダ名」にありません。                         | (同エラーメッセージ)  | RESISTER.XMLに記述されるサブフォルダ名は、INDEX_C.XMLに同様のフォルダを記述する必要があります。  | RESISTER.XMLに記述されるサブフォルダ名をINDEX_C.XMLにも同様のフォルダを記述するようにして下さい。  |
| 同様の記述がINDEX_EC.XMLの「台帳オリジナルファイルフォルダ名」にありません。                        | (同エラーメッセージ)  | RESISTER.XMLに記述されるサブフォルダ名は、INDEX_EC.XMLに同様のフォルダを記述する必要があります。   | RESISTER.XMLに記述されるサブフォルダ名をINDEX_EC.XMLにも同様のフォルダを記述するようにして下さい。 |
| <b>■ 工事その他資料関係メッセージ</b>   |  |  |   |

## XML構成

| エラーメッセージ                                       | 出力例   | 原因  | 対処方法   |
|--|---|---|--|
| ★同様の記述がINDEX_C.XMLの“その他オリジナルファイルフォルダ名”にありません。  | (同エラーメッセージ)   | OTHR.S.XMLに記述されるサブフォルダ名は、INDEX_C.XMLに同様のフォルダを記述する必要があります。   | OTHR.S.XMLに記述されるサブフォルダ名をINDEX_C.XMLにも同様のフォルダを記述するようにして下さい。                       |
| ★同様の記述がINDEX_EC.XMLの“その他オリジナルファイルフォルダ名”にありません。 | (同エラーメッセージ)   | OTHR.S.XMLに記述されるサブフォルダ名は、INDEX_EC.XMLに同様のフォルダを記述する必要があります。  | OTHR.S.XMLに記述されるサブフォルダ名をINDEX_EC.XMLにも同様のフォルダを記述するようにして下さい。                      |
| ★同様の記述がINDEX_MC.XMLの“その他オリジナルファイルフォルダ名”にありません。 | (同エラーメッセージ)   | OTHR.S.XMLに記述されるサブフォルダ名は、INDEX_MC.XMLに同様のフォルダを記述する必要があります。  | OTHR.S.XMLに記述されるサブフォルダ名をINDEX_MC.XMLにも同様のフォルダを記述するようにして下さい。                      |
| <b>■ 図面関係メッセージ</b>                             |   |   |  |
| ★追加対象工種-数値に記載がありません。                           | (同エラーメッセージ)   | 追加対象工種-数値に、値が記述されていません。   | 基準(案)・要領(案)で規定されている以外の<対象工種-数値>を使用する場合は、必ずその値を<追加対象工種-数値>に記入する必要がありますので、記述して下さい。 |
| ★図面種類に誤りがあります。図面種類は ◎◎ です。                     | ★図面種類に誤りがあります。<br>図面種類は 規定の図面種類或いは追加図面種類-略語の値です。      | ファイル名の図面種類が基準(案)に規定された図面種類、あるいは追加図面種類の略語と一致しません。  | 基準(案)・要領(案)に規定された図面種類、或は追加図面種類の略語を記述して下さい。                                       |
| ★ファイル形式がP21ではありません。                            | (同エラーメッセージ)   | 沖縄県では、CADファイルがP21と規定されています。   | 相応しいファイル形式でデータを作成し、納品してください。   |
| ★記入された値「◎◎」は、対象工種に既に存在していません。                  | ★記入された値「GS」は、対象工種に既に存在しています。                          | 追加図面種類略語に記述した値は、対象工種にある図面種類が記述されました。  | 対象工種にない記号を追加図面種類略語として使用して下さい。  |
| ★◎◎に対する「対象工種-数値」に記載がない為、¥n図面種類の検査を行うことが出来ません。  | ★D0LC001Z.P21に対する「対象工種-数値」に記載がない為、図面種類の検査を行うことが出来ません。 | <図面ファイル名>の3.4桁目のアルファベットは図面種類を表しますが、使用することが可能な図面種類は、工種ごとに变化します。<br>本エラーは各<図面ファイル名>に対する<対象工種-数値>が未記入のため発生します。 | 相応しい値をそれぞれの<対応工種-数値>に記入してください。   |
| ★道路台帳(対象工種401)のファイル名は、1文字目ライフサイクル「M」で固定です。     | (同エラーメッセージ)   | 道路台帳のファイル名のライフサイクルがMとなっていないです。  | Mと変更して下さい。   |
| ★河川台帳(対象工種410)のファイル名は、1文字目ライフサイクル「M」で固定です。     | (同エラーメッセージ)   | 河川台帳のファイル名のライフサイクルがMとなっていないです。  | Mと変更して下さい。   |

## XML構成

| エラーメッセージ   | 出力例   | 原因  | 対処方法   |
|--|---|---|--|
| ★図面ファイル名8桁目、改定履歴は◎◎です。                             | ★図面ファイル名8桁目、改定履歴はZです。   | DRAWING、DRAWINGFIに格納する図面ファイル名の改訂履歴はZ、DRAWINGSIに格納する図面ファイル名の改訂履歴は0と規定されています。 | 改訂履歴を正しく記入してください。  |
| ★追加対象工種-数値の値が「401」の時追加対象工種-概要の値は「道路台帳」です。          | (同エラーメッセージ)   | 追加対象工種-数値が401の場合、追加対象工種-概要に、「道路台帳」と入力していません。                                | 「道路台帳」と記入してください。   |
| ★図面ファイルとSAFファイルの名称が一致しません。                         | (同エラーメッセージ)   | 8桁目までの図面ファイル名称とSAFファイル名称が一致していません。  | 8桁目までの図面ファイル名称とSAFファイル名称を合わせて記述して下さい。                              |
| ★ラスタファイルの名称が基準に沿っていません。                            | (同エラーメッセージ)   | 7桁目までの図面ファイル名称とラスタファイル名称が一致していません。  | 7桁目までの図面ファイル名称とラスタファイル名称を合わせて記述して下さい。                              |
| ★記述されているラスタファイル名の数と一致しません。                         | (同エラーメッセージ)   | 記述されているラスタファイル名の数と、実際のラスタファイル数が一致しません。                                      | 正しいラスタファイル数を記述して下さい。   |
| <b>■ 写真関係メッセージ</b>                                 |   |   |  |
| 値が指定されていません。<br>★撮影年月日 は必須入力です。                    | (同エラーメッセージ)   | 国土交通省平成18年1月以降の要領(案)では、撮影年月日が必須と決められていますので、撮影年月日が入力していません。                  | 撮影年月日を入力して下さい。   |
| ★写真-大分類が'工事'、写真区分が'品質管理写真'もしくは'出来形管理写真'の場合は必須記入です。 | <工種></工種><br>★写真-大分類が'工事'、写真区分が'品質管理写真'もしくは'出来形管理写真'の場合は必須記入です。 | 写真の大分類が工事、写真区分が品質管理写真もしくは出来形管理写真の場合、工種は必須入力となります。                           | 写真の大分類が工事、写真区分が品質管理写真もしくは出来形管理写真の場合、工種を必ず入力して下さい。提出頻度が「0」の場合も同様です。 |
| ★写真-大分類が'工事'、写真区分が'出来形管理写真'の場合は必須記入です。             | <種別></種別><br>★写真-大分類が'工事'、写真区分が'出来形管理写真'の場合は必須記入です。             | 写真の大分類が工事、写真区分が出来形管理写真の場合、種別は必須入力となります。                                     | 写真の大分類が工事、写真区分が出来形管理写真の場合、種別を必ず入力して下さい。                            |

## XML構成

| エラーメッセージ  | 出力例   | 原因   | 対処方法                               |
|---|---|--|------------------------------------|
| <b>■ 地質関係メッセージ</b>  |   |  |                                    |
| ★コード1次、コード2次、コード3次のいずれか(もしくは全ての)値が緯度経度情報から算出される値と異なります。   | (同エラーメッセージ)   | BEDnnnn.XMLに記述されるコード1次、コード2次、コード3次の値は、緯度、経度情報より、決まった計算式で算出されます、これらの値が正しくありません。   | 計算式に関しては、要領(案)を参照して下さい。正しく計算して下さい。 |
| ★「使用するX軸番号」または、「使用するY軸番号」は「軸番号」に記入されている値を記入してください。  | (同エラーメッセージ)   | TS*.XML内の<使用するX軸番号>もしくは<使用するY軸番号>にて発生するエラーで、記入されている値が、<軸番号>に記入されていないため発生します。   | <軸番号>に値を記述して下さい。                   |
| ☆最終深度は総掘進長以下でなければなりません。ただし、最終深度で標準貫入試験等の試験を実施している場合は問題ありません。  | (同エラーメッセージ)   | 記述された最終深度の値が総掘進長の値より大きい場合に表示されます。ただし、最終深度で標準貫入試験等の試験を実施している場合は問題ありません。   | 最終深度の値と総掘進長の値を確認し、正しい値を記述して下さい。    |
| ★「デジタル試料供試体写真ファイル名」に記入されているファイル名が要領(案)の命名規則に従っていません。  | <デジタル試料供試体写真ファイル名>S0020001.JPG</デジタル試料供試体写真ファイル名><br>★「デジタル試料供試体写真ファイル名」に記入されているファイル名が要領(案)の命名規則に従っていません。 | ファイル名の命名規則にあっていません。  | ファイル名を要領(案)の規定通りに修正して下さい。          |
| ★〇〇 はファイル名の試料連番と一致しません。TSnnnnmm.XML の nnn と同じ値を記入してください。  | [TS001001.XML]<br><試料連番>001</試料連番><br>★001はファイル名の試料連番と一致しません。TSnnnnmm.XML の nnn と同じ値を記入してください。            | 試料連番はTSnnnnmm.XML の nnn の値と一致していない場合に発生します。  | TSnnnnmm.XML の nnn と同じ値を記入してください。  |
| ★GRNDTST.XMLに記述されている%2に対応する「%3」の内容と一致しません。  | [TS001001.XML]<br><試験者>日本太郎</試験者><br>★GRNDTST.XMLに記述されているTS001001.XMLに対応する「試験者」の内容と一致しません。                | 要領(案)ではGRNDTST.XMLに記入した「試験者」がTS001001.XMLに記入された試験者と一致する必要があります。この両者の値が一致していません。  | 一致した値を記入して下さい。                     |
| ★連番部分がフォルダ名の連番と一致しません。  | (同エラーメッセージ)   | 電子土質試験結果一覧表ファイル名の連番部分と、TESTフォルダ内のフォルダの連番部分が一致していません。<br><br>(例: BORING¥TESTの中のフォルダ名称がSIT0001で、電子土質試験結果一覧表ファイル名がSTB0002.PDFの場合) | 一致した値を記入して下さい。                     |
| <b>■ 測量関係メッセージ</b>  |   |  |                                    |
| ★“測量区分”、“測量成果区分”のフォルダの組み合わせが測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)の“測量記録フォルダパス名”、“測量成果フォルダパス名”及び“その他データフォルダパス名”に存在しません。 | (同エラーメッセージ)   | 測量の地形、路線等のサブフォルダのXMLに記述される測量区分、測量成果区分或は測量細区分のフォルダの組み合わせが測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)にある“測量記録フォルダパス名”、“測量成果フォルダパス名”に記述されていません。        | 測量成果フォルダパス名を記述して下さい。               |

## XML構成

| エラーメッセージ   | 出力例   | 原因  | 対処方法  |
|--|---|---|---|
| ★“測量区分”、“測量成果区分”のフォルダの組み合わせが測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)の“測量記録フォルダパス名”、“測量成果フォルダパス名”に存在しません。                           | (同エラーメッセージ)   | 測量の地形、路線等のサブフォルダのXMLに記述される測量区分、測量成果区分或は測量細区分のフォルダの組み合わせが測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)にある“測量記録フォルダパス名”、“測量成果フォルダパス名”に記述されていません。               | 測量成果フォルダパス名を記述して下さい。  |
| ★“測量区分”、“測量成果区分”及び“測量細区分”のフォルダの組み合わせが測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)の“測量記録フォルダパス名”、“測量成果フォルダパス名”及び“その他データフォルダパス名”に存在しません。 | (同エラーメッセージ)   | 測量の地形、路線等のサブフォルダのXMLに記述される測量区分、測量成果区分或は測量細区分のフォルダの組み合わせが測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)にある“測量記録フォルダパス名”、“測量成果フォルダパス名”に記述されていません。               | 測量成果フォルダパス名を記述して下さい。  |
| ★“測量区分”、“測量成果区分”及び“測量細区分”のフォルダの組み合わせが測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)の“測量記録フォルダパス名”、“測量成果フォルダパス名”に存在しません。                  | (同エラーメッセージ)   | 測量の地形、路線等のサブフォルダのXMLに記述される測量区分、測量成果区分或は測量細区分のフォルダの組み合わせが測量情報管理ファイル(SURVEY.XML)にある“測量記録フォルダパス名”、“測量成果フォルダパス名”に記述されていません。<br>対処方法: 上記参照 | 測量成果フォルダパス名を記述して下さい。  |
| ★「測量区分」が「基準点測量」「水準測量」以外の場合は「99」以外を記入することはできません。  | [SURVEY.XML]<br>[等級]<br><等級>22</等級><br>★「測量区分」が「基準点測量」「水準測量」以外の場合は「99」以外を記入することはできません。                                | 等級の値に誤りがあります。   | 「測量区分」が「基準点測量」「水準測量」以外の場合は「99」を記述して下さい。   |
| ★「測量区分」が「◎◎」の場合は指定できる値は「△△」のいずれかです。  | [SURVEY.XML]<br>[等級]<br><等級>55</等級><br>★「測量区分」が「基準点測量」の場合は指定できる値は「10～14、21～24、99」のいずれかです。                             | 等級の値に誤りがあります。   | 「測量区分」が「基準点測量」の場合は指定できる値は「10～14、21～24、99」のいずれかを記述して下さい。<br>各種測量区分の関係は要領案を確認して下さい。 |
| ★「平面直角座標系」に記述がありますが「○側境界平面直角座標」に記述がありません。  | [SURVEY.XML]<br>[西側境界平面直角座標]<br><西側境界平面直角座標></西側境界平面直角座標><br>[測量区域番号: 1]<br>★「平面直角座標系」に記述がありますが「西側境界平面直角座標」に記述がありません。 | 平面直角座標に記入がありません。  | 平面直角座標に記入する   |
| ☆対応するデータ「○○」が成果品中に存在しません。  | ☆対応するデータ「観測手簿」が成果品中に存在しません。   | 対応するデータが成果品中に存在しません。  | 対応するデータの測量成果情報を納品・記述して下さい。  |
| <b>■ 機械設備工事編関係メッセージ</b>  |   |   |   |
| ★機器コードの記述が合っていない。10から14桁の半角英数字、[機器コード]が発生しない場合は「ZZ」を記入してください。  | (同エラーメッセージ)   | 機器コードの入力に誤りがあります。   | 10から14桁の半角英数字、[機器コード]が発生しない場合は「ZZ」を記入して下さい。                                       |
| ★「台帳フォルダ名」が未記入の場合は「0」で固定です。  | ★「台帳フォルダ名」が未記入の場合は「0」で固定です。   | エラーメッセージが示すように、<基礎情報>の<台帳フォルダ名>が未記入の場合は、必ず「0」を記入してください。   | <基礎情報>の<台帳フォルダ名>が未記入の場合は、必ず「0」を記入して下さい。   |

## XML構成

| エラーメッセージ   | 出力例   | 原因   | 対処方法                          |
|--|---|--|-------------------------------|
| <b>■ 営繕課関係メッセージ</b>                                  |   |  |                               |
| △△ にデータの記述があります。<br>★電子成果物の有無が「0」の場合は記述の必要はありません。    | 図面ファイル名 にデータの記述があります。<br>★電子成果物の有無が「0」の場合は記述の必要はありません。              | 官庁営繕の管理ファイルには対象のファイルを電子納品するか否かを設定する要素<電子成果物の有無>が存在しません。<br>この値が「0」の時、電子納品しないということになります。にもかかわらず、図面ファイル名等に何らかの記述が存在する場合、発生します。 | 電子成果物の有無が「0」の場合は何も記述しないでください。 |
| ☆◎◎内に記述されている何れの「施設識別コード」とも一致しません。                    | ☆INDEX.C.XML内に記述されている何れの「施設識別コード」とも一致しません。                          | 図面管理ファイルに記載のある施設識別コードが、業務/工事管理ファイルに記載のあるいずれの施設識別コードとも一致しません。   | 正しい値かどうか確認してください。             |
| ☆◎◎内に記述されている「施設識別コード(△△)」に対応する何れの「建築物識別コード」とも一致しません。 | ☆INDEX.C.XML内に記述されている「施設識別コード(12345678)」に対応する何れの「建築物識別コード」とも一致しません。 | 図面管理ファイルに記載のある建築物識別コードが、業務/工事管理ファイルに記載のある施設識別コードに対応する何れの建築物識別コードとも一致しません。  | 正しい値かどうか確認してください。             |
| ☆紙による納品があります。  | (同エラーメッセージ)   | 注意メッセージです。<br><電子成果物の有無>0</電子成果物の有無>と記述されている場合は、紙による納品を示す注意メッセージです。  | —                             |

## PDFファイルチェック

| 分類       | エラーメッセージ                                   | 出力例  | 原因   | 対処方法   |
|----------|--|--|--|--|
| フォント     | フォントが埋め込まれているか、もしくは特殊なフォントが使用されています。       | (同エラーメッセージ)                                    | PDFファイルにフォントが埋め込まれています。                    | フォントの埋め込みをしないようにして下さい。   |
| しおり      | しおりが存在しません。                                | (同エラーメッセージ)                                    | しおりが作成されていません。                             | しおりを作成して下さい。   |
|          | リンクされていないしおりが存在します。                        | リンクされていないしおりが存在します。                            | リンクされていないしおりがあります。                         | しおりとページのリンクを作成して下さい。   |
| セキュリティ   | セキュリティが設定されています。<br>その為、他のチェックは実行できませんでした。 | (同エラーメッセージ)                                    | セキュリティ(パスワード)が設定されています。                    | セキュリティを解除して下さい。  |
| ファイルの障害  | ファイル(○○)の読み込みに失敗しました。                      | ファイル(C:\¥成果品¥REPORT¥REPORT01.PDF)の読み込みに失敗しました。 | ファイルが壊れている場合が考えられます。                       | ファイルが壊れていないか確認して下さい。   |
| ファイルの存在  | チェック対象となるファイルが存在しません。                      | (同エラーメッセージ)                                    | 成果品に報告書PDFファイルが含まれていません。                   | 報告書PDFファイルがあるかを確認して下さい。<br>要領(案)では、報告書(REPORT)フォルダに格納するPDFファイルのみ作成規定を設けており、それ以外のフォルダにPDFファイルが格納されていても、チェックの規定がないため、チェックを行いません。<br>但し、官庁営繕の成果品の場合は、この限りではありません。 |
| ページレイアウト | ◎◎ページ目がA4縦ではありません。                         | 5ページ目がA4縦ではありません。                              | PDFファイルにA4縦ではないページが含まれています。                | A4縦で作成して下さい。   |
| サムネール    | サムネールが存在しません。                              | (同エラーメッセージ)                                    | サムネールが作成されていません。                           | サムネールを作成して下さい。   |
| 初期表示チェック | 最初に開かれるページが、◎◎ページになっています。                  | 最初に開かれるページが、2ページになっています。                       | ファイルを開くと、最初に表示されるページが1ページ目(表紙)が見開きとなっています。 | 最初に表示されるページを1ページ目に設定して下さい。   |
|          | 最初に開かれるページの倍率が、◎◎になっています。                  | 最初に開かれるページの倍率が、80%になっています。                     | ファイルを開く時に、表示の倍率が100%ではありません。               | 表示倍率を100%に設定して下さい。   |

## CADファイルチェック

| エラーメッセージ                     | 出力例                                | 原因  | 対処方法                                   |
|------------------------------|------------------------------------|---|--|
| 「〇〇〇」が使用されています、正しい色は「△△△」です  | 赤が使用されています、正しい色は白です                | 線色が一致しない。<br>(受発注者協議で変更可)   | 線色をCAD製図基準に合わせてください。<br>(受発注者協議で変更可)   |
| 「〇〇〇」が使用されています、正しい線種は「△△△」です | 破線が使用されています、正しい線種は実線です             | 線種が一致しない。<br>(受発注者協議で変更可)   | 線種をCAD製図基準に合わせてください。<br>(受発注者協議で変更可)   |
| 「線幅名」が使用されています               | 0.13mmが使用されています                    | TTLレイヤのみ線幅(1.4mm)が一致しない。  | 線幅をCAD製図基準に合わせてください。                   |
| 「文字高(mm)」が使用されています           | 4.5mmが使用されています                     | 文字高さが 1.80、2.50、3.50、5.00、7.00、10.00、14.00、20.00mm以外が使用されている。<br>(受発注者協議で変更可) | 文字高さをCAD製図基準に合わせてください。<br>(受発注者協議で変更可) |
| 「○△□」に禁則文字「△」が使用されています       | 電子納品チェックソフトに禁則文字「チェックソフト」が使用されています | CAD製図基準(案)で、指定されていない文字(禁則文字)が使用されている。   | 使用文字をCAD製図基準に合わせてください。                 |
| 背景と同色の要素があります                | (同エラーメッセージ)                        | 背景色と同じRGB値を使用している要素がある。   | 背景色とは別の色を使用してください。                     |

## CADファイルチェック

| エラーメッセージ  | 出力例  | 原因  | 対処方法                      |
|---|--|---|---------------------------|
| ファイル名に基準(案)・要領(案)に無い図面種類が使用されています                   | (同エラーメッセージ)                                  | <p><b>(H28.3CAD製図基準以前)</b><br/>           CAD製図基準(案)の指定どおりに設定されていない。<br/>           ファイル名 = ○●□□■●■△.拡張子<br/>           ○:ライフサイクル(左1バイト)<br/>           ●:整理番号(2文字目1バイト)<br/>           □:図面種類(3・4文字目 2バイト)<br/>           ■:図面番号(5~7文字目 3バイト)<br/>           △:改定履歴(右1バイト)<br/>           条件1~6 のいずれかでエラーとなる。<br/>           条件1) ○ がSDCM以外<br/>           条件2) ● が0~9・A~Z以外<br/>           条件3) □□ が指定された文字以外<br/>           条件4) ■■■ が数値以外<br/>           条件5) △ が0~9・A~Z以外<br/>           条件6) ○●□□■●■△ = 8バイト以外</p> <p><b>(H29.3CAD製図基準以降)</b><br/>           CAD製図基準(案)の指定どおりに設定されていない。<br/>           ファイル名 = ■■■○●□□△(-ユーザ定義領域).拡張子<br/>           ■:図面番号(5~7文字目 3バイト)<br/>           ○:ライフサイクル(左1バイト)<br/>           ●:整理番号(2文字目1バイト)<br/>           □:図面種類(3・4文字目 2バイト)<br/>           △:改定履歴(右1バイト)<br/>           条件1~6 のいずれかでエラーとなる。<br/>           条件1) ■■■ が数値以外<br/>           条件2) ○ がSDCM以外<br/>           条件3) ● が0~9・A~Z以外<br/>           条件4) □□ が指定された文字以外<br/>           条件5) △ が0~9・A~Z以外<br/>           条件6) ■■■○●□□△ = 8バイト以外</p> | ファイル名をCAD製図基準に合わせてください。   |
| レイヤ名 [○○○] は 基準(案)・要領(案)のレイヤ名に適していません(SURVEYフォルダ含む) | レイヤ名 [D-STR-STR1] は 基準(案)・要領(案)のレイヤ名に適していません | 管理ファイルに新規レイヤとして記入が無く、図面に使用されている(エラー)  | 管理ファイルの新規レイヤ情報に記入してください。  |
| 追加レイヤ [○○○] が使用されていません                              | 追加レイヤ [D-STR-STR1] が使用されていません                | 管理ファイルに新規レイヤとして記入があり、図面に使用されていない(注意)  | 管理ファイルの新規レイヤ情報から削除してください。 |
| レイヤ名 [○○○] は新規レイヤとして使用されています                        | レイヤ名 [D-STR-STR1] は新規レイヤとして使用されています          | 管理ファイルに新規レイヤとして記入があり、図面にも使用されている(協議により使用可)  | 協議事項の場合、修正の必要はありません。      |

## CADファイルチェック

| エラーメッセージ   | 出力例                               | 原因  | 対処方法  |
|--|-----------------------------------|---|---|
| レイヤ名 [○○○] は 命名規則に沿っていません  | レイヤ名 [D-STR-STR11] は 命名規則に沿っていません | CAD製図基準(案)の指定どおりに設定されていない。<br>レイヤ名 = ○-□□□□-△△△△.拡張子<br>○:ライフサイクル(1バイト)<br>□:図面オブジェクト(4バイト以下)<br>△:作図要素(4バイト以下)<br>条件1~3のいずれかでエラーとなる。<br>条件1) ○ がSDCM以外<br>条件2) □□□□が0~9・A~Z以外<br>条件3) △△△△が0~9・A~Z以外 | レイヤ名をCAD製図基準に合わせてください。                        |
| 1. 外枠のレイヤ( TTL関連 )がありません<br>2. 余白チェック<br>余白が規定より不足しています<br>⇒余白は正しく取れていますが、用紙枠があります | (同エラーメッセージ)                       | 1. チェック図面のレイヤ名の図面オブジェクトに、TTLが使用されていない。(エラー)<br>2. 余白チェック<br>TTLレイヤより外側にデータ要素がある。(エラー)<br>ただし、用紙枠の場合は修正の対象とはしていません。  | 1. TTL関連のレイヤを使用する。<br>2. TTLレイヤより外側のデータを削除する。 |
| 要素が用紙外(○側)にあります  | 要素が用紙外(上側)にあります                   | データ要素が用紙外にある。   | TTLレイヤより外側のデータを削除する。                          |
| 全ての部分図(シート)の縮尺が 1/1 に設定されています<br>部分図(シート)に縦横異縮尺が使用されています<br>1/1 よりも大きい縮尺が使用されています  | (同エラーメッセージ)                       | 以下の条件を含む場合にエラーとなる。<br>条件1) 全ての縮尺が1/1<br>条件2) 部分図に縦横異縮尺が使用<br>条件3) 1/1以上の縮尺が使用   | 図面に記載されている縮尺と合わせる。                            |
| 用紙サイズがA1ではありません。<br>用紙サイズがフリー横です   | 用紙サイズがA1ではありません。                  | 用紙サイズがA1以外を使用している。<br>(受発注者協議で変更可)  | 用紙サイズにA1にする。                                  |

## CADファイルチェック

| エラーメッセージ   | 出力例  | 原因   | 対処方法  |
|--|--|--|---|
| 図面要素にSXFレベル2の要素が使用されていません<br>レイヤ[〇〇〇]にラスターがありません                               | 図面要素にSXFレベル2の要素が使用されていません<br>レイヤ[D-BGD-RSTR]にラスターがありません                                      | 以下の条件を含む場合にエラーとなる。<br>条件1) 以下の項目要素が図面に一つも存在しない場合<br>・スプライン<br>・既定義シンボル<br>・直線寸法<br>・角度寸法<br>・半径寸法<br>・直径寸法<br>・引き出し線<br>・バルーン<br>・既定義ハッチング<br>・塗りハッチング<br>・ユーザ定義ハッチング<br>・パターンハッチング<br>条件2) ラスターデータのリンク切れ又はラスターデータ破損 | SXFレベル2の要素で作成する。                                |
| ラスターがあります  | ラスターがあります  | ラスターレイヤ(RSTR)以外にラスターデータが存在しています。   | 問題ないか、確認して下さい。                                  |
| 〇種類の線幅が使用されています(〇mm,〇mm、〇mm、〇mm)<br>線の太さが1:2:4の比率になっていません<br>線幅「〇mm」が使用されています。 | 〇種類の線幅が使用されています(0.13mm,0.18mm、0.25mm、0.5mm)<br>線の太さが1:2:4の比率になっていません<br>線幅「0.25mm」が使用されています。 | 以下の条件を含む場合にエラーとなる。<br>条件1) 線幅が3種類以内で且つ比率が1:2:4でない<br>条件2) 寸法線(DIM)、旗上げ(HTXT)に0.13mm以外の線幅が使用  | 線幅を「1:2:4」の比率で作成する。<br>DIM・HTXTに0.13mmの線幅を使用する。 |
| 部分図に測量座標系が使用されていません  | (同エラーメッセージ)  | 位置図・平面図(LC, PL, IP)で測量座標系が使用されていない場合   | 測量座標系を使用する。                                     |
| □ x-x x x-TXT<br>文字要素がありません、文字要素以外の要素があります                                     | □ D-STR-TXT<br>文字要素がありません、文字要素以外の要素があります   | 作図要素TXTに文字列が使用されていない文字列以外が使用されている。   | TXTには文字列のみを使用する。                                |
| □ x-x x x-HTXT<br>文字要素・引出線がありません、文字要素・引出線以外の要素があります                            | □ D-STR-HTXT<br>文字要素・引出線がありません、文字要素・引出線以外の要素があります  | 作図要素HTXTに文字列または引出線が使用されていない。<br>作図要素HTXTに文字列または引出線以外が使用されている。  | HTXTには文字列または引出線のみを使用する。                         |
| □ x-x x x<br>文字要素があります   | □ D-STR<br>文字要素があります   | 作図要素FRAM, LINE, STR, 図面オブジェクトBMK, BGD, STRIに文字列が使用されている  | 文字列を使用しない。                                      |

## CADファイルチェック

| エラーメッセージ  | 出力例  | 原因  | 対処方法  |
|---|--|---|---|
| <input type="checkbox"/> ×-DCR-HCH<br>ハッチング要素がありません<br><input type="checkbox"/> ×-DCR-HCH<br>ハッチング要素以外の要素があります                                      | <input type="checkbox"/> D-DCR-HCH<br>ハッチング要素がありません<br><input type="checkbox"/> D-DCR-HCH<br>ハッチング要素以外の要素があります | 作図要素HCHIにハッチングが使用されていない<br>作図要素HCHIにハッチング以外が使用されている                       | HCHIにハッチング(SXFレベル2)を使用する。                           |
| <input type="checkbox"/> ×-×××-RSTR<br>ラスターがありません、ラスター以外の要素があります  | <input type="checkbox"/> D-BGD-RSTR<br>ラスターがありません、ラスター以外の要素があります   | 作図要素RSTRにラスター以外の要素が無い<br>作図要素RSTRにラスター以外の要素がある(ラスター枠の場合は修正の必要の対象としていません。) | RSTRにラスターデータを使用する。                                  |
| 寸法線関連の要素が使用されていません  | 寸法線関連の要素が使用されていません   | 図面に寸法線関連の要素が使用されていない<br>(寸法線要素関連 = 直線・角度・周長・半径・直径・面取寸法)                   | DIMに寸法線(SXFレベル2)を使用する。<br>図面に寸法線が無い場合は、修正の必要はありません。 |
| <input type="checkbox"/> 線種名/256byt<br>・線種名:[○○○]は不正です  | <input type="checkbox"/> 線種名/256byt<br>・線種名:[○○○]は不正です   | 線種名の文字長チェック<br>⇒256バイト以上かチェック   | 線種名を変更してください。                                       |
| <input type="checkbox"/> セグメント数<br>・線種名:[○○○] はセグメント数が 10 です  | <input type="checkbox"/> セグメント数<br>・線種名:[○○○] はセグメント数が 10 です   | 線種のセグメント数をチェック<br>⇒セグメント数が8より大きいかチェック                                     | 線種のセグメント数を変更してください。                                 |
| <input type="checkbox"/> ラスター<br>「ファイル名」は、TiffG4Stripped形式ではありません<br>「ファイル名」は、は、モノクロラスターではありません<br>「ファイル名」は、は、ドット上限を超えています<br>「ファイル名」は、リンクデータがありません | (同エラーメッセージ)  | ラスターのチェック<br>・TiffG4Stripped形式<br>・モノクロラスター<br>・ドット上限<br>・リンクの有無          | ラスターデータの仕様をCAD製図基準に合わせてください。                        |
| 「ファイル名」はSFCです<br>「ファイル名」はSXF(SFC/P21)形式ではありません  | (同エラーメッセージ)  | ファイル形式がP21形式ではない  | P21形式で納品してください。                                     |

## 日付チェック

※環境設定画面で、日付チェックを行う設定にした場合のみチェックされます。

| エラーメッセージ                         | 出力例   | 原因  | 対処方法                                     |
|----------------------------------|---|---|--|
| ★[◇◇]は、工期外に作成されたファイルです。          | ★[PHOTO¥PIC¥P0000001.JPG]は、工期外に作成されたファイルです。     | INDEX*.XMLに記載されている工期外に作成されたファイルです。<br>(例:INDEX_C.XMLの工期開始日・終了日が「2013-05-01」～「2013-7-31」の場合、ファイル更新日時が2013年9月20日だと、工期範囲外のためエラーとなります。) | 工期外のファイル更新日時で問題ないか、確認して下さい。              |
| ★[◇◇]は、Exif情報と更新日付が一致しません。       | ★[PHOTO¥PIC¥P0000001.JPG]は、Exif情報と更新日付が一致しません。  | 成果品内のJPGファイルについて、ファイル更新日時とExif情報(JPGファイル内部で持つ撮影年月日情報)に差異があります。  | 写真撮影後にファイルを編集した可能性がありますので、問題ないか、確認して下さい。 |
| ★INDEXファイルの日付に誤りがあるため検査できませんでした。 | (同エラーメッセージ)                                     | INDEXファイルの日付形式に誤りがあるため、日付チェックができませんでした。   | INDEXファイルの日付形式に問題がないか、確認して下さい。           |
| ★[%1]は、Exif情報の更新日付が確認できません。      | ★[PHOTO¥DRA¥D0000001.JPG]は、Exif情報の更新日付が確認できません。 | 成果品内のJPGファイルについて、Exif情報(JPGファイル内部で持つ撮影年月日等情報)が存在しないため、ファイル更新日時との比較ができません。   | 問題ないか、確認して下さい。                           |